

事前評価シート

担当課 担当名	港湾課 港湾担当
作成年月日	平成29年3月29日

事業名	港湾改修事業（防災・安全交付金事業）		
箇所名	宮崎港	市町村名	宮崎市

実施方法	補助 交付金 県単				
事業費 (百万円)	全体事業費	国費	県費	その他	一般財源
	2,470	1235	988	247	
事業期間	事業着手	目標完成年度			
	H29	H33			

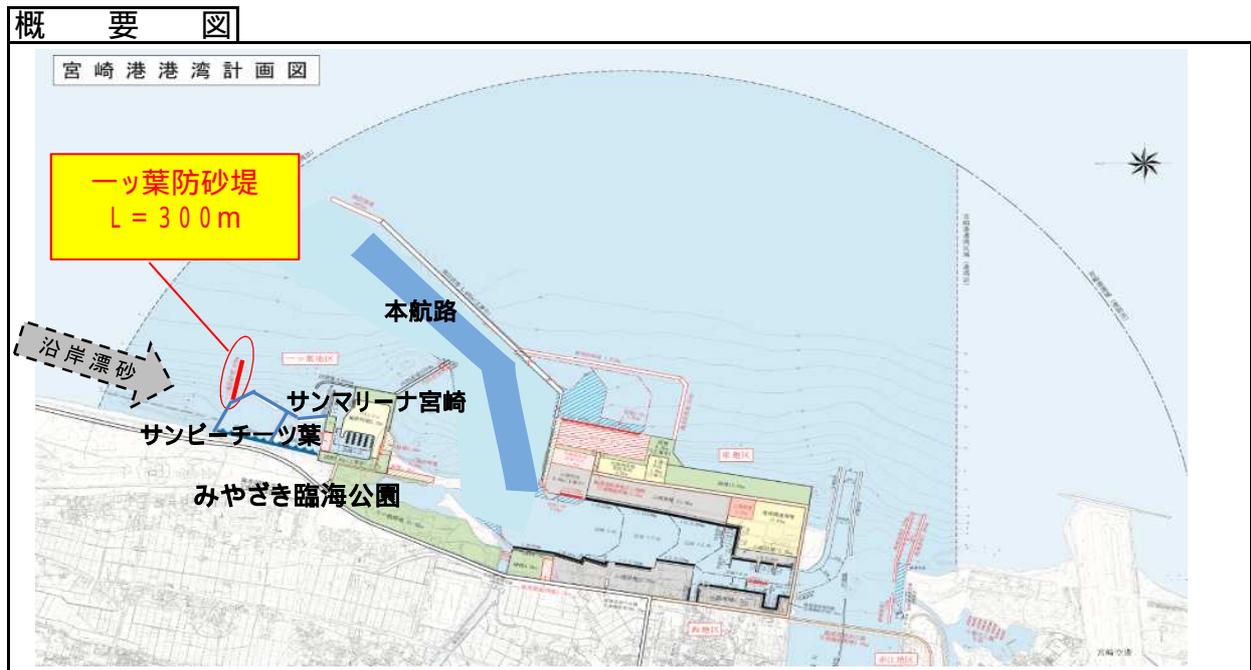
総合長期計画上の位置付け	有	無
細項目名	安全で安心な県土づくり	
	県境を越えた交流・連携の推進	
	交通・物流ネットワークの整備・充実	

全体計画
防砂堤 L = 300m

事業目的

宮崎港は「南九州の物流拠点」であり、「本県の海洋性レクリエーション基地」として位置づける「みやざき臨海公園」を有しているが、北側からの沿岸漂砂が堆積して、サンマリーナ宮崎の航路やサンビーチツ葉では利用に支障が生じているとともに、今後はフェリー等が航行する本航路にも支障が生じることが判明している。

このため、一ツ葉防砂堤を整備して砂の流入を抑制し堆積量を減少させることにより、維持浚渫費用の縮減を図り航路等を維持可能な状態にして、宮崎港を航行する船舶の安全確保や、おもてなし環境の向上を図ることを目的とする。



事前評価シート

事業名	港湾改修事業
箇所名	宮崎港

(1) 事業の重要度に関する評価

評価の視点	評価項目	審査項目	判断基準	配点(新)	評価点	
成立性	上位計画との関連性に関する事項	国・県レベルの計画に関する事項	別表1) 参照			
		・国のプロジェクト施策等での位置付け		4	4	
		・県総合長期計画での位置付け		3	3	
	他事業との関連性に関する事項	市町村レベルの計画に関する事項	別表2) 参照			
		・市町村総合計画での位置付け		3	3	
他事業等との関連に関する事項		別表3) 参照				
		・他の港湾施設と連携して整備を行う港湾		5	5	
		・他事業と連携して整備を行う港湾		5	5	
	小計			20	20	
必要性・有効性	事業による効果に関する事項	港湾計画等での位置付けに関する事項	別表4) 参照			
		・港湾計画等での位置付け		20	20	
		物流機能の強化に関する事項	別表5) 参照			
		・取扱貨物量		3	3	
		・船舶の大型化		3		
		・港湾荷役の効率化		3		
		・物流ネットワークの形成		3	3	
		港湾の機能に関する事項	別表6) 参照			
		・定期航路(フェリー、コンテナ、ROROなど)の状況		3	3	
		・漁船対策としての施設整備との関連性		3		
		・プレジャーボート対策としての施設整備の関連性		2	2	
		港湾・船舶の安全確保に関する事項	別表7) 参照			
	・船舶航行の安全		3	3		
	・荷役作業等の安全		2			
	・国土の保全		2	2		
	地域振興・地場産業の振興に関する事項	別表8) 参照				
	・コストの縮減		3			
	・地域の交流・振興		2	2		
・地域の安全性の確保		2	2			
港湾施設現況の改善に関する事項	別表9) 参照					
・静穏度・稼働率		2	2			
・充足率・整備水準		2	2			
・事故の発生状況		2	2			
環境への影響に関する事項	自然環境への影響に関する事項	別表10) 参照				
	・自然環境保全地域または緑地環境保全地域内の事業		2	2		
	環境への配慮・保全に関する事項	別表11) 参照				
	・緑化や景観		2			
	・建設副産物発生抑制、再利用		2	2		
・生態系・自然環境の保全、良好な景観の形成		2	2			
・公害防止(排気ガス、騒音等)		2	2			
小計			70	54		
実行性	地元からの要望活動に関する事項	別表12) 参照				
	・地元からの要望		5	5		
	・地元協力体制					
	事業計画への住民参加に関する事項	別表13) 参照				
・住民参加		3	3			
・用地・漁業補償等の調整		2	2			
・地元の関係住民との合意形成の有無		2	2			
小計			10	10		
合計				100	84	

「地元」とは、港湾の利用者のことである。

(2) 事業効率に関する評価

評価項目	評価結果
費用対効果(B/C)	1.43

(3) 総合評価

評価項目による判定結果	判定結果
重要度ランク	
事業効率	84